【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公表番号】特表2002-534069(P2002-534069A)
【公表日】平成14年10月15日(2002.10.15)
【出願番号】特願2000-591867(P2000-591867)
【国際特許分類】
Ａ２２Ｃ　21/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２２Ｃ　21/00

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月22日(2006.11.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１１】　スタッフの利用可能性を示すデータを記録するためのスタッフ利用可能性記録手段をさらに含む請求項７から１０による装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
ウェイブリッジ２６からの測定信号、計量装置３４、及び計量装置４８は、点線５２ａ、５２ｂ及び５２ｃによりそれぞれ表されたように、データ処理システム５０に送られ記憶される。さらに、データ処理システム５０には、点線５４ａ、５４ｂ、５４ｃ、及び５４ｄにより表されたように、各コンテナ２４の待機領域３０における経過時間についての情報を供給するデータが送られる。特定のコンテナ２４について、この種の時間測定は、例えば、独自の判読可能なラベルをそれに貼ることにより行うことができ、このラベルは、コンテナ２４が待機領域３０に入る際に最初に読まれ、コンテナ２４がコンベヤ３２へ空にされた際にそのラベルが再度読まれて、コンテナ２４に関する第１及び第２の時間がデータ処理システム５０に記憶される。トラック２２における搬送に要する時間は、さらに、搬送すること及び胃袋を空にすることが生じる下での周囲温度などの状態に関連するパラメータとすることができることから、データ処理システム５０に記録可能である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１１】

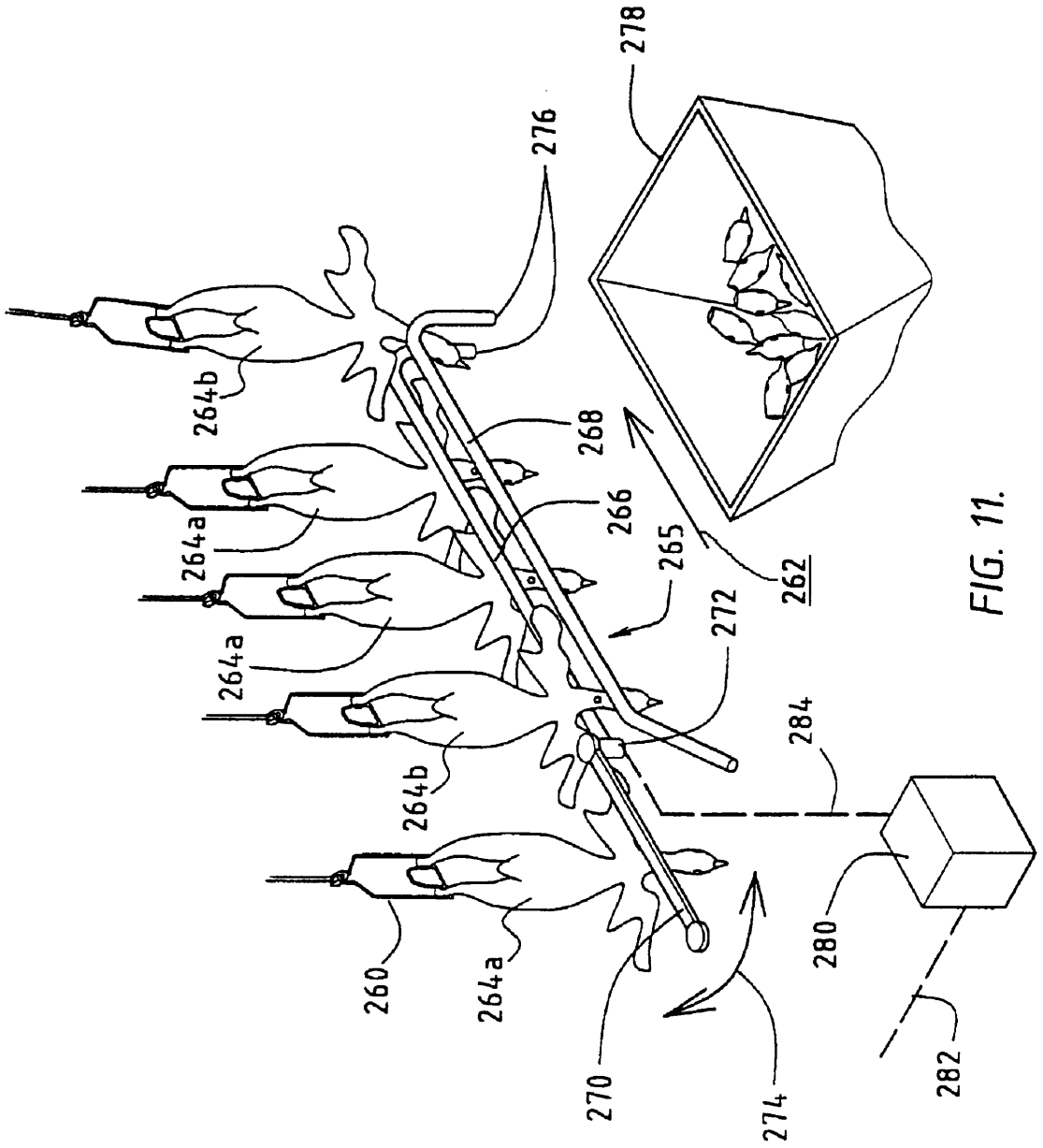
278
276
264b
268
264a
266
265
262
264a
272
284
264b
260
264a
280
270
274
282

FIG. 11.